

参考資料1：森林内（工事現場）で遠隔臨場の実証

目的：山林内（工事現場内）における通信環境を改善することにより
労働安全性・作業効率を向上させやすい事業環境を構築する

山林内の通信ネットワークを構築 ・衛星ブロードバンドと360°カメラを活用した遠隔臨場

① 衛星ブロードバンド(スターリンク)

KDDI(株)

・低軌道衛星で高速通信が可能、電波の届かない現場で遠隔臨場が可能

Starlink衛星



KDDIホームページ引用

スターリンク (Starlink)

- ・アメリカ合衆国の民間企業スペースXが運用している衛星コンステレーション※低軌道衛星で高速通信が可能
- ・地球低軌道上の何千もの大量生産された小型衛星で構成され、地上に置かれた専用の送受信機と通信することになる。

② 360°映像の双方向型ライブ配信システム

リコージャパン(株)

360°映像で配信し、事務所側はブラウザ上で見たい画角を選択可能

配信側（現場）

受信側（事務所）



RICHOホームページ引用

360°映像の双方向型遠隔配信システム (RICO Remote Field)

- ・建設現場の様子をRICO360°映像で配信し、オフィス側ではブラウザ上で見たい画角を選択可能
- ・ウェアラブルカメラを使い、現場の文字情報や部品の詳細の確認等

参考資料2:遠隔臨場(WEB現場確認)が進むことで、、、、

- ★上司や同僚が離れた場所から支援・指導できる
 - ★現場確認へ行く回数が減る
 - ★迅速、的確な対応ができる
- 時短・労働力コスト削減が期待できる

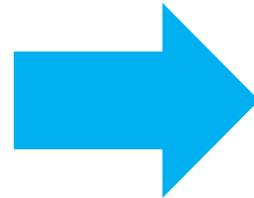
移動時間
縮減



現地の小さな
悩みも



経験が少な
くても



効率的に現地確認ができて
業務がスムーズに！！

